

# 地域福祉はロマンから



福岡県久留米市 健康福祉部 地域福祉課

# 久留米市の紹介 (令和4年6月1日現在)

- ・ 人口 : 302,821人
- ・ 世帯数 : 139,864世帯
- ・ 面積 : 229.96km<sup>2</sup>
- ・ 高齢化率 : 27.79%
- ・ 沿革 : 明治22年 我が国初の市制施行  
(全国の38市とともに)  
平成20年 中核市へ移行  
平成31年 市制施行130周年



## 【主な支援機関】

- ・ 地域包括支援センター : 11ヶ所
- ・ 障害者基幹相談支援センター : 4ヶ所
- ・ 生活自立支援センター : 1ヶ所
- ・ こども子育てサポートセンター : 1ヶ所  
(母子健康包括支援センター)
- ・ 保健センター : 保健所+ 5ヶ所

**重層的とは、人の重なりを創ること。**

---

# 1 久留米市での重なり事例

きっかけは...H29～R1年度に実施した

「保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発・普及のための環境整備事業」

超少子高齢化・人口減少社会にどう向き合うかをテーマに、  
社会福祉法人・まちづくりの若手・行政・社協が  
コンソーシアムを形成

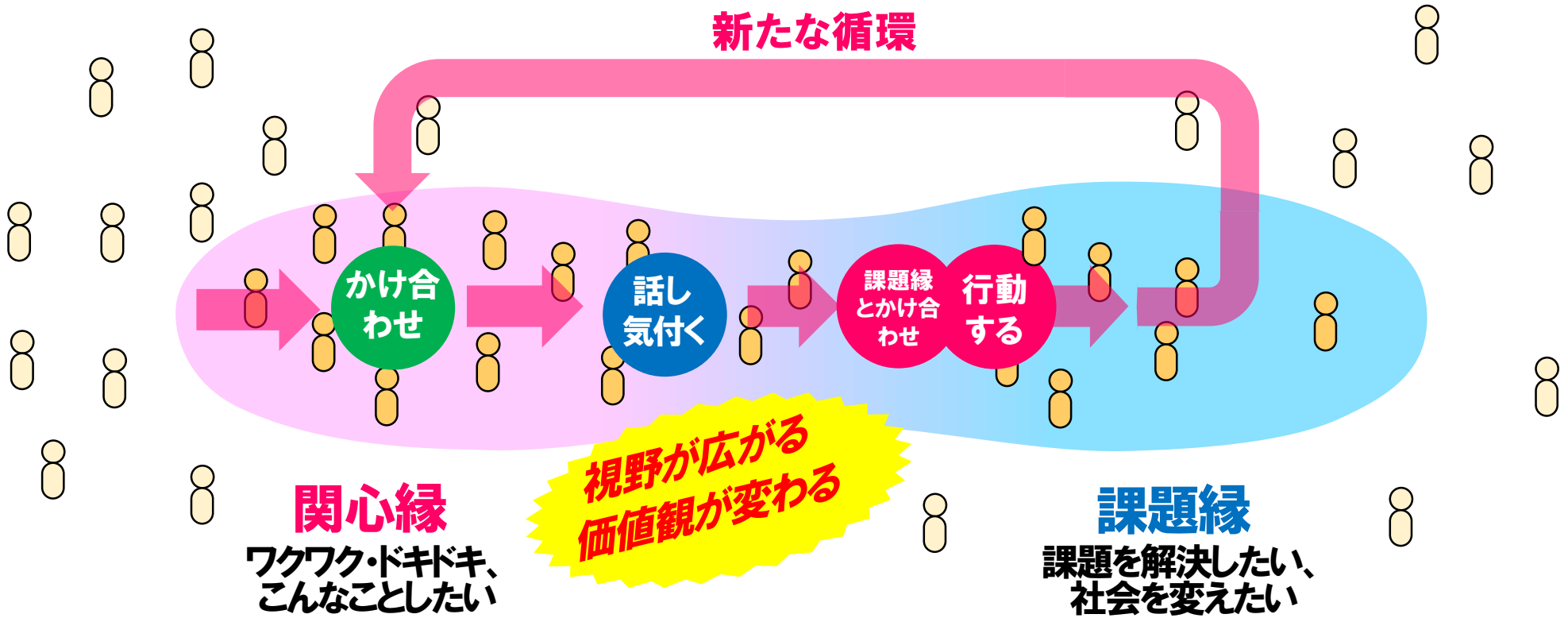


【3年間を振り返って気づいたこと】

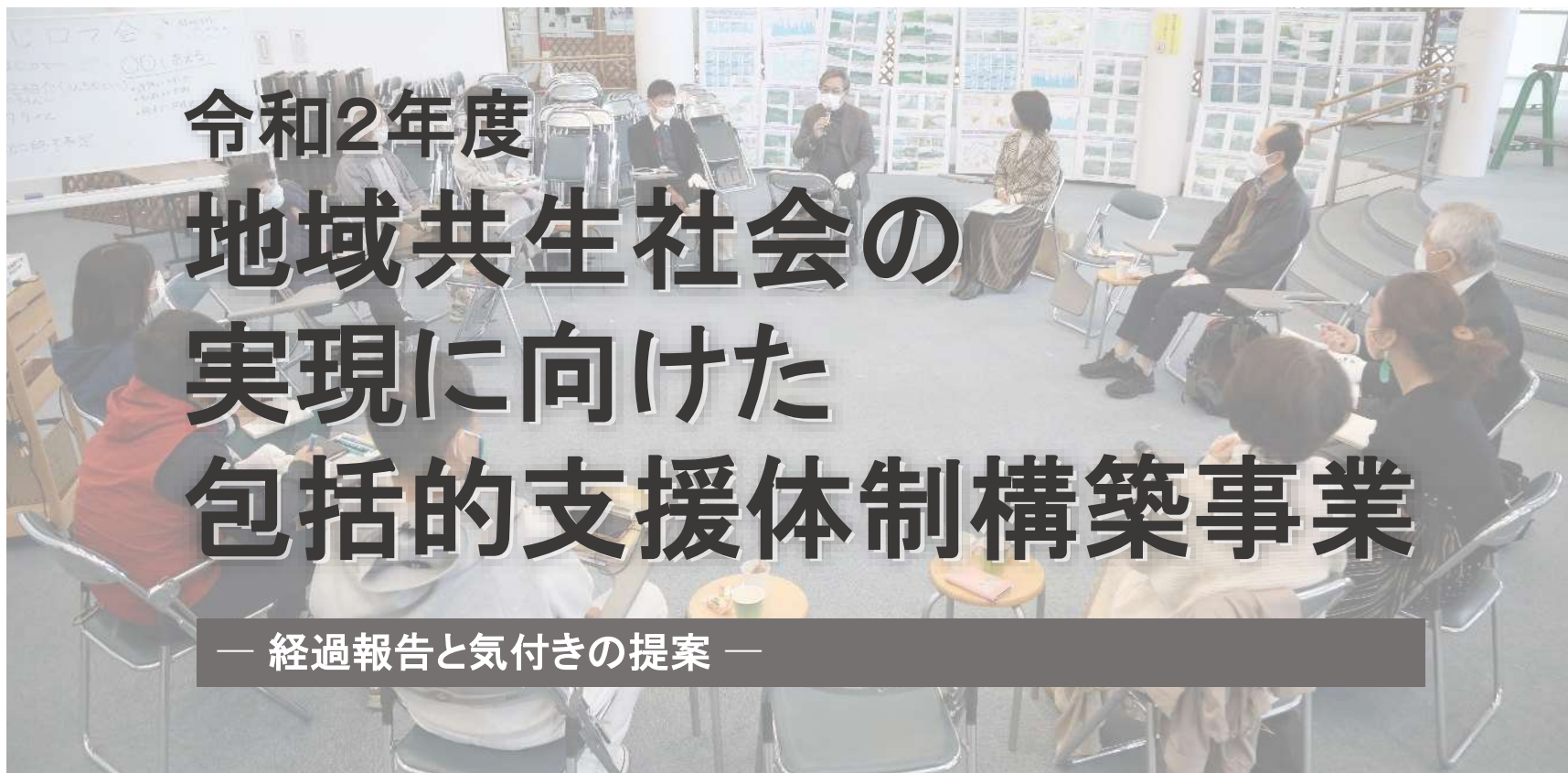
- ・**解決型**思考だけではなく**可能性**型志向も
- ・**異世代**×**異文化**のかけ合わせが可能性を生む
- ・民間と行政が事務局を協働運営できる
- ・**興味関心**から地域課題に気づくことがある

関心をきっかけに人と人がかけ合わされ、地域が見えて課題解決へと循環

次世代を担う若い人が多面化していくためには  
関心縁から地域にローカルログインすることからはじまる



**興味関心**から課題に気づくのも**あり**。  
どうやったら出会いが広がるだろう。  
どんな**プラットフォーム**が必要だろう。



# 令和2年度 地域共生社会の 実現に向けた 包括的支援体制構築事業

— 経過報告と気づきの提案 —



久留米市  
(地域福祉課・協働推進課)



久留米市社会福祉協議会



Chietsuku, Pjt

知恵つくプロジェクト

わたし達のミッションは  
地域共生社会づくりに必要な  
プラットフォームを  
つくること。



Chietsuku, Pjt

久留米市 ✕ 久留米市社会福祉協議会 ✕ 知恵つくプロジェクト  
(地域福祉課・協働推進課)



# プラットフォームって？

場所のこと？プロジェクトのこと？  
人が集まること？  
出入り自由な感じ？

# 地域共生社会って？

問いから  
始まった

共に生きる社会ってこと？  
多様性？多世代？異文化？  
人と人が関わること？

# 2020- 生まれた3つのプラットフォーム

ただただ  
ロマンを語り合う  
プラットフォーム



はじロマ会

**実験**

- ✓目的を持たない会
- ✓ロマンの効果
- ✓フラットな立場
- ✓オープンマインド

中間支援組織が  
つながる  
プラットフォーム



IC UNIT

**実践**

- ✓校区への関わり
- ✓組織の協働事業
- ✓校区でロマン自慢大会を実現
- ✓組織としてのプロセスづくり

地域福祉を  
一般化する  
プラットフォーム



地域福祉  
一般化会

**実態**

- ✓3者での価値観の融合
- ✓成果をプロセスに
- ✓お互いの役割の把握
- ✓関わった人の意識変化



わたし達は考える。これからの地域に必要なのは



ちいきふくし-ろまん

お互いの泣き笑いの人生に耳を傾け、「こう暮らしたい。」  
それを語り合つと、自然と人が重なっていく。

実践

# 多世代・多分野交流サロン 第2木曜は**はじロマ会**

感染対策



長めの自己紹介に「ロマン」を感じる。

中間支援組織の力を結集して、校区文化祭をオンライン化

# 江上校区でロマン自慢大会



久留米市社会福祉協議会



筑後川防災施設  
くるめウス



市民活動サポートセンター  
みんくる

**IC UNIT**  
Ikigai Coordination Unit

中間支援組織同士が、やりたいけどできていないことを出し合い、得意分野を重ねて協働するプラットフォーム

# はじロマ会で検証してきたこと

## オープンマインド(本音)の大切さ

→開かれすぎたプラットフォームで人の距離が縮まる

“地域共生社会”は  
『地域福祉』を推進した先にある。

では、

地域福祉の推進とは？

では、「地域福祉の推進」を私たちの言い換え。

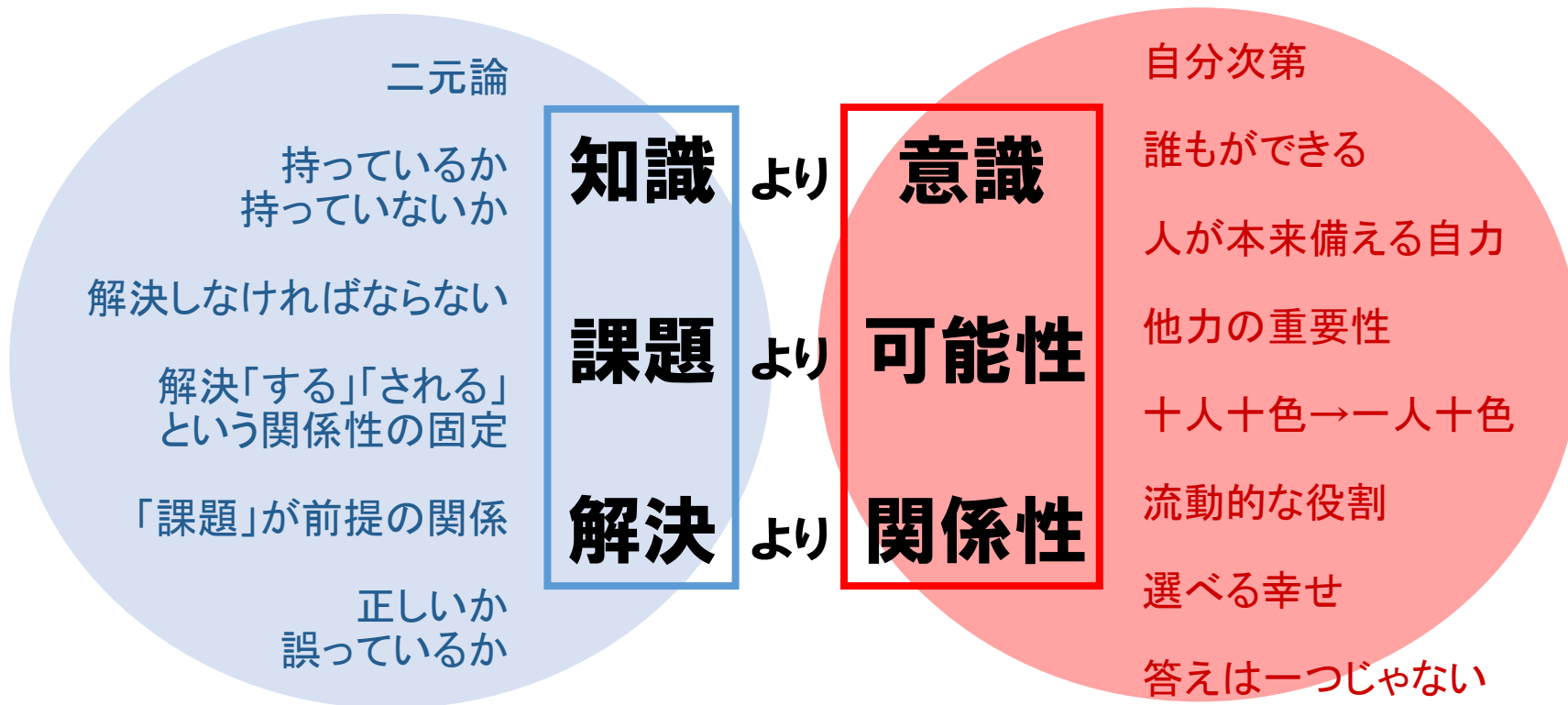
“「 」し合える”を  
めちやくちや増やすこと

だと考えます。



思考・発想の転換で

# 関わり方の別の入口に気づく



# 福祉制度

# 住民として

**知識**

知識を持った人が、  
目の前に迫った課題を  
解決する手法を考える。

**課題**

今後も必要なこと  
でも、全員が  
この手法はとれない

**解決**

**意識**

人に意識を向け、  
可能性(強み)を考え  
関係性から始める。

**可能性**

すぐには変わらない  
でも、持続可能で  
誰もができる関わり

**関係性**

# 地域福祉NEO

自分の根っこを意識する「根を」。  
自分を更新し続ける「NEO」。  
話せば距離が縮まる「本音を」



つどうプラットフォーム

## 新地福委員会

久留米人の本音トークから地域福祉を新たにデザイン

オルタナティブ  
スクール運営者

移住者

久留米大学生

コミュニティ  
スペース運営者

ホームレス支援団体

NPO代表者

久留米工業大学生

大学教授

参加支援事業者

障害児の親

高校生

エステ店長

障害者基幹センター職員

はぐくむプラットフォーム

## 未来会議

若者がやりたいことと地域福祉を  
コラボして次世代に循環

そなえるプラットフォーム

## みんなのもしも

防災や感染症に備えていない人に  
備えの大切さを伝播

災害ボランティア団体

東北からの  
移住者

水害に遭った住民

ひとり親

大学生

久留米市 × チエツクプロジェクト × 社会福祉法人拓く



つたえるプラットフォーム

## 地福TV

各プロジェクトの成果をくるめオンライン公民館番組内で発信





## しゃぼん玉

### 【性質】

- ・誰でもどこでも吹ける
- ・どんな大きさも創れる
- ・壊れても何回も吹ける
- ・見ているだけで幸せ

## 支え合いの可視化も

「シャボン玉を作る」だけが目的のイベントを開催。

突如としてこの場にできたコミュニティ。

半分は「今までの事業で出会った人」× 半分は「通りすがりの人」

# 地域福祉NEOで検証してきたこと

生活者として  
一住民として  
当事者として

→全ての住民が自分事として関わり合える手法を模索

**事業**は**地域**にどんな**影響**を与えたのだろうか。

立場を超えて本音で  
向き合える関係性を紡ぐ

H29~R1  
コンソーシアム事業

R1~R2  
包括的支援体制構築事業

R3~  
重層的支援体制整備事業  
-支え合うプラン取組推進事業-

事業の他にも  
人との出会い、意識の変化で  
多彩な活動が誕生

ひとり親支援拠点 **じじっか**  
**久留米オンライン公民館**  
コミュニティスペース **ぷらっと.荘島**  
児童発達支援 出会いの場 **Leo**  
地域に優しい創意工夫のお店 **本業+α**  
NPO法人 **久留米10万人女子会**  
シミュレーションブレンド **備えあいフェスタ**

これまで出会った  
人達が、チームを  
創って事業スタート

令和4年度久留米らしい重なり方デザイン事業





# はじめは目的を持たない場から

目的のない場で語る**本音**は、人の距離を**縮める**。  
場が**楽しい**ほど距離は縮まる。  
その本音が**チームを創る**。

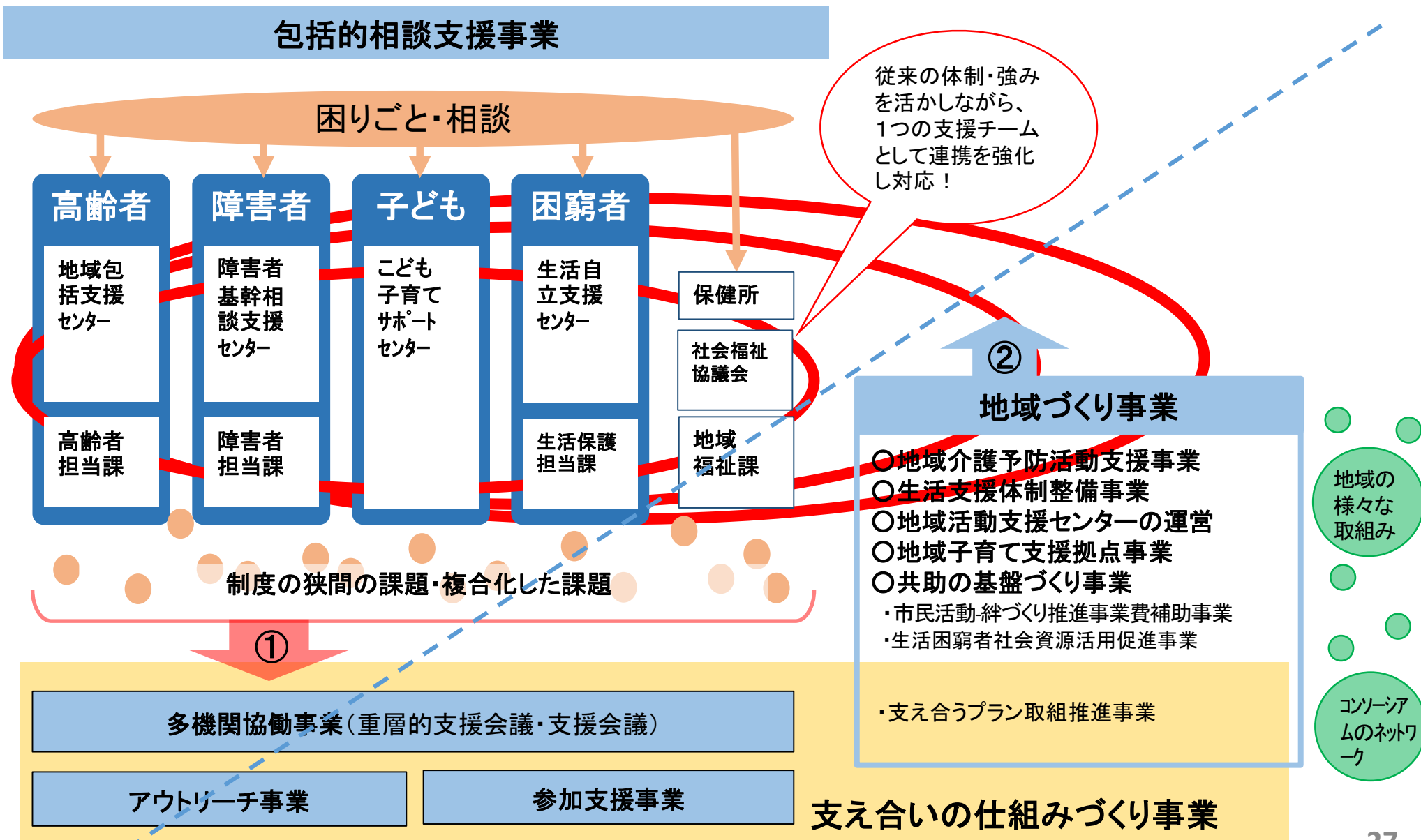
→目的なく出会えること。

その先に目的を持った活動が広がる。道端での再会からさらに生まれる。

## **2 久留米市の重層的支援体制整備事業の概要**

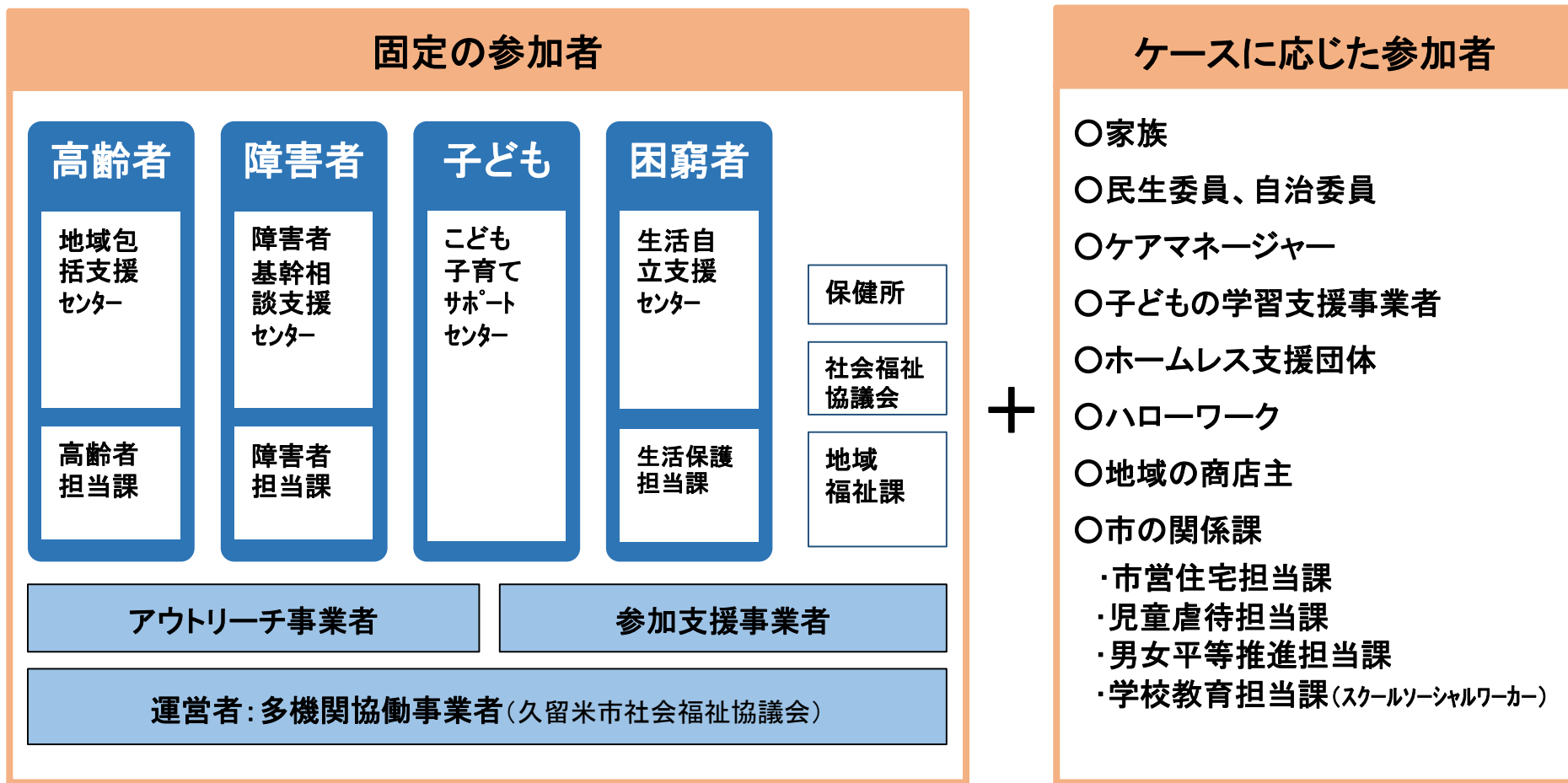
# (1) 重層事業の全体像(体制面)

相談支援と地域づくりの両方から体制を整備



# (2) 事業展開の工夫

## 重層的支援会議・支援会議の概要 開催日：毎月第4水曜日（縮小版や臨時会議も開催）



### 《重層的支援会議》 個別ケース会議＋重層的を考える会

- ・複数の支援機関等が関与する必要があり、役割調整が必要なケース
- ・既存の福祉サービスでは本人や世帯のニーズに対応できないケース
- ・多様な視点から課題を解きほぐし、見立てを重ね、支援を検討する必要があるケース
- ・社会資源の充足状況に向けた把握と開発に向けた検討

### 《支援会議》 個別ケース会議

- ・気になる事例の情報提供・情報共有
- ・見守りと支援方針の検討

# 自分事として参加したくなる仕掛け

## 個別ケース会議

- 位置づけ:重層的支援会議・支援会議
- 概要:会議は**車座**で。**自由席**。  
冒頭で、所属・名前・自分の好きなことを紹介  
地域づくりではおなじみの“**チェックイン**”を  
フォーマルの会議に注入。**本音**で話せる仕掛け
- 効果:出席者の人柄が見え、距離が縮まる

夏休みの宿題  
は最終日に徹  
夜してました。



## 重層的な支援体制の構築を考える会

- 位置づけ:重層的支援会議
- 概要:各課・機関で日頃から課題に感じていることを  
議題として**持込む**  
**市・機関・市民活動団体も参加し、一緒に検討**
- 効果:聞いたことはあるが、実際によく知らない国・  
県・民間団体との関係性が生まれた  
市民活動の紹介を通じて、社会資源に頼ろうと  
いう意識が芽生えた



# 重層的な支援体制の構築を考える会 実施一覧

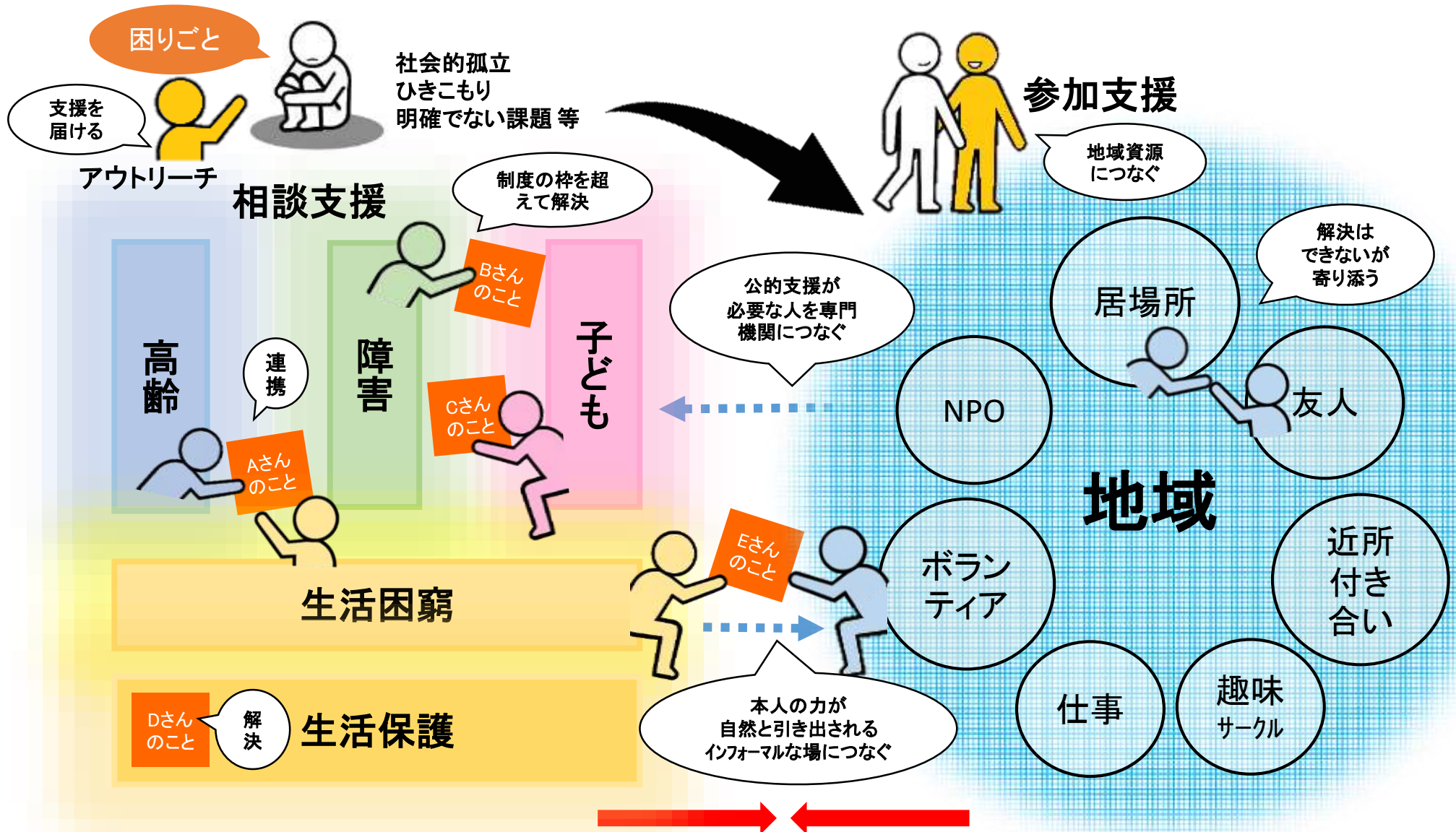
	テーマ ※( )は説明者
第1回(R3.9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重層的支援体制整備事業(地域福祉課)</li> <li>・久留米市社協の取組(市社協)</li> <li>・校区社協及びふれあいの会の取組(校区社協)</li> </ul>
第2回(R3.11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭子ども相談課の取組(家庭子ども相談課)</li> <li>・こども子育てサポートセンターの取組(こども子育てサポートセンター)</li> <li>・じじっかの取組((一社)umau.)</li> </ul>
第3回(R3.12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計改善支援事業(生活支援課)</li> <li>・日常生活自立支援事業(福岡県社協)</li> <li>・成年後見事業(長寿支援課)</li> </ul>
第4回(R4.3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動サポートセンターみんくる事業・ボランティア団体紹介(協働推進課・みんくる)</li> <li>・住宅環境整備支援 ※ごみ屋敷(長寿支援課)</li> </ul>
第5回(R4.4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の就労支援について(ハローワーク久留米)</li> </ul>
第6回(R4.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTの方の現状について(当事者・人権同和対策課)</li> </ul>
第7回(R4.6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再犯防止の取組について(保護司会・県定着支援センター)</li> <li>※越冬活動の会も交えて意見交換</li> </ul>
第8回(R4.7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きづらさのある子の家族が知っておきたい親なきあとについて(当事者・行政書士)</li> <li>※ひきこもり家族会も参加</li> </ul>
第9回(R4.8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の振り返りと今後に向けてーこの1年で見たことー(地域福祉課)</li> </ul>
第10回(R4.9)	【予定】フォーマルとインフォーマル。久留米らしい重なり方を考える(久留米らしい重なり方デザイン事業受託者)

# 重層事業の 1歩目

- ・支援を届ける
- ・枠を超える
- ・他の方法を考える

# と 目指すゴール

- ・「支える／支えられる」を超える
- ・相談支援と地域の距離が近くなり、支援のあり方が変化する



それぞれの良さやノウハウを、互いに活かし合うことが重層の目指す姿

お伝えする時間をいただきありがとうございました。

---不具合は改善のチャンス---

支え合い事例 発信してます



“し合う”が今、面白い

地域福祉マガジン

# グッチョ

Guccho



KURUMECITY HP

NOTE

